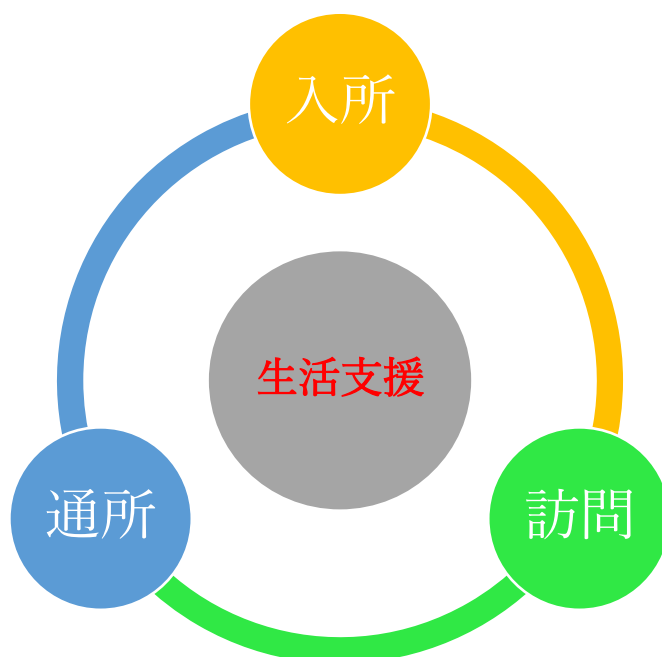


あけあい会 リハビリテーション部門の紹介



- ・通所リハビリテーションは短時間（1～3時間）のリハビリに特化したコースもあります。
- ・入所ではリハビリテーションステイ（1か月程度の集中的リハビリ）を実施しています。
- ・訪問は通所リハビリテーションと連携をとり外出支援、活動性の向上に努めています。

リハビリテーション行動目標

- ① 最高のリハビリテーションを提供し、利用者さまの満足度が得られるよう、あらゆる努力を行っていきます。
- ② 医師、看護師、介護士など様々な職種のスタッフと連携し、利用者さまの抱える問題を多角的に考え、その解消を追求していきます。
- ③ 受け身の治療ではなく、利用者さま自ら積極的にリハビリテーションに関われるよう援助していきます。
- ④ 根拠のあるリハビリテーションをしっかりと説明し、同意のもと実施していきます。

リハビリテーションステイ (1か月程度の集中的リハビリ)

リハビリテーションステイとは

特に集中的なリハビリテーションを希望される利用者様に対して、期間限定(1か月程度)で受け入れをさせて頂く入所サービスです。

この様な方にお勧めします

- 1 病院から退院を勧められたが、もう少しリハビリを継続したい方
- 2 片麻痺の後遺症の改善に取り組んでみたい方
- 3 生活の中で感じている課題動作や行為のさらなる上達にとりくみたい方
- 4 自分自身でできることを増やせるように頑張りたい方 など

1日の流れ(リハビリテーションステイ)



6:00

起床・朝食

7:00

8:00

9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00



リハビリテーションの内容

作業・理学療法士が利用者様から要望を聞き、個々にあったリハビリテーションを実施します。生活行為上の問題点やその人らしい人生を歩むために必要な様々なリハビリテーションを展開しています。

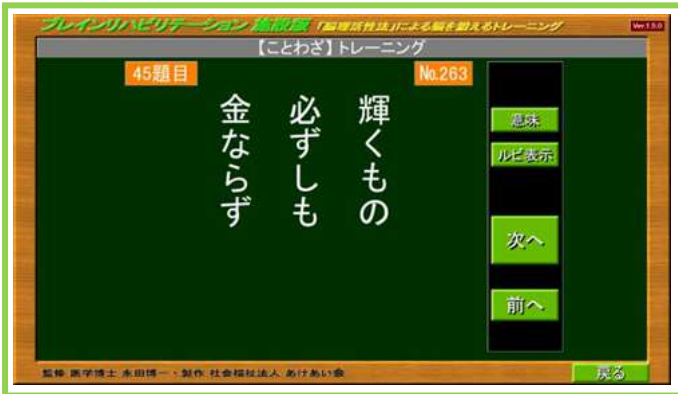
脳卒中後の片麻痺の回復を促進することを目的に**徒手での動作促通**や**電気刺激**などで促通を行います。



衰えてきた脳を活性化するためにタッチパネルパソコンを使い脳の活性化を図ります。

あけあい会が独自に開発したプログラム：ブレインリハビリテーションです。

音読、計算を中心に対象者に合わせた難易度のプログラムを選択し、気軽に楽しめるリハビリテーションです。



ロボットを用いたリハビリテーションで歩行動作の向上、安定性の支援を行っています。



パワーリハビリテーションの理論に基づき高齢者用のマシンを用いて、軽負荷で運動を行います。姿勢を整えた状態で行い、普段使用しない筋肉が働きます。身体的、精神的に改善をもたらします。パワーリハビリテーションは、様々な疾患に対しての効果が実証されています。



作業・理学療法士が介護士などと情報共有しながら、個人に応じた内容の運動を、**実際の生活の場**でもそのエリア職員と行います。



タブレットを用いて、余暇活動に塗り絵やゲームなど、手軽に行えるように環境を整えています。また、脳トレも行えます。



療法士の教育システム

- ・入職時に新規採用者全職種で5日程度の研修を行っています。
- ・教育段階に応じた集合研修やオンライン研修を開催しています。
- ・オンラインでの4老健合同のリハビリテーション職員で症例検討会を行っています。
- ・各施設でリハビリテーション職員での症例検討会、文献抄読会を行っています。
- ・学会への参加や発表に取り組んでいます。
- ・技術に関する動画が作成されており法人ホームページ上で閲覧して個人学習ができます。
- ・OJT制度を取り入れています。

